【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公開番号】特開2005-312486(P2005-312486A)
【公開日】平成17年11月10日(2005.11.10)
【年通号数】公開・登録公報2005-044
【出願番号】特願2004-130540(P2004-130540)
【国際特許分類】
Ａ４３Ｂ　19/00　　(2006.01)
Ａ４３Ｂ　23/07　　(2006.01)
Ｂ２９Ｄ　31/50　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４３Ｂ　19/00
Ａ４３Ｂ　23/07
Ａ４３Ｂ　10/00　　１０１Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月21日(2007.3.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
表甲被と、止水性の袋甲被と、中底布と、靴底とからなる防水靴であって、
表甲被は、履き口側及び靴底側が開口する足形状のものであり、
袋甲被は、履き口側が開口する足形状かつ袋状のものであり、
表甲被と袋甲被とは、袋甲被が表甲被の内側に装着されて、両者がそれぞれの履き口辺りで縫合してあり、
中底布は、爪先側領域には存在せず踵側領域において表甲被下周縁に縫合してあり、
靴底は、少なくとも爪先側領域においては射出成形法により形成されて袋甲被と接合一体化してあることを特徴とする防水靴。
【請求項２】
表甲被と袋甲被とよりなる甲被には、踵側領域において射出成形法による靴底を形成していない部分があり、当該部分に別途作製した軽量な踵側靴底を接着してあることを特徴とする請求項１記載の防水靴。
【請求項３】
表甲被と、止水性の袋甲被と、中底布と、靴底とからなる防水靴を製造する方法であって、
履き口側及び靴底側が開口する足形状の表甲被に、履き口側が開口する足形状かつ袋状の袋甲被を装着するとともに、両者をそれぞれの履き口辺りで縫合し、
表甲被靴底側の開口部の爪先側領域を空けて踵側領域を塞ぐように、中底布を表甲被下周縁に縫合し、
表甲被と袋甲皮と中底布とを縫合したものの靴底として、少なくとも中底布不存在の爪先側領域へ、靴底材料を射出して、袋甲被と接合一体化した靴底を形成することを特徴とする防水靴の製造方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明の防水靴は、表甲被と、止水性の袋甲被と、中底布と、靴底とからなる防水靴であって、表甲被は、履き口側及び靴底側が開口する足形状のものであり、袋甲被は、履き口側が開口するとともに足形状かつ袋状のものであり、袋甲被は、履き口側が開口する足形状かつ袋状のものであり、表甲被と袋甲被とは、袋甲被が表甲被の内側に装着されて、両者がそれぞれの履き口辺りで縫合してあり、中底布は、爪先側領域には存在せず踵側領域において表甲被下周縁に縫合してあり、靴底は、少なくとも爪先側領域においては射出成形法により形成されて袋甲被と接合一体化してある構成である。
また、本発明の防水靴を製造する方法は、表甲被靴底側の開口部の爪先側領域を空けて踵側領域を塞ぐように、中底布を表甲被下周縁に縫合し、表甲被と袋甲皮と中底布とを縫合したものの靴底として、少なくとも中底布不存在の爪先側領域へ、靴底材料を射出して、袋甲被と接合一体化した靴底を形成する構成である。